

## 令和3年度 地域懇談会 ～市長と語る会～ 当日意見

地区名	瑞浪(山田)地区	番号	1
タイトル	産婦人科・小児科の設置について		
ご意見の内容			
<p>配布資料裏面に「一病院化により現在不足している産婦人科・小児科はできるのでしょうか」のQ&amp;Aの回答がアバウトなため、お応えできる範囲で明確な言葉が聞きたいです。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>土岐市・瑞浪市の両市とも産婦人科がないため、瑞浪市民の多くは、多治見市内の病院や市立恵那病院、可児市の病院に足を運んでみえます。新病院の基本構想・基本計画の中に産婦人科・小児科が設置できるよう策定委員会に要望してまいります。</p>			

地区名	瑞浪(山田)地区	番号	2
タイトル	一次医療機関との連携について		
ご意見の内容			
<p>開業医(クリニックや診療所)との連携はどうなっていますか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>国は、一次・二次・三次医療機関の役割を明確に定義しました。一次医療機関は、かかりつけ医と言われるクリニックや診療所。二次医療機関は、入院医療、専門外来医療を提供する地域の中核的病院。三次医療機関は、特殊・先進的な医療に対応する高度で専門的な大規模病院（県病院など）となっています。新病院は、二次医療機関にあたり、一次医療機関との連携は欠かせないと考えております。</p>			

## 令和3年度 地域懇談会 ～市長と語る会～ 当日意見

地区名	瑞浪(山田)地区	番号	3
タイトル	将来的な費用について		
ご意見の内容			
将来的に建て替えなどが必要になってきた際、市民の税金はどのように動きますか。			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
将来がどのような時代になっているのかわかりませんが、30年間はこのJA厚生連、土岐市、瑞浪市の三者の費用負担の枠組みで進めていく予定です。これは一般的に30年で施設が老朽化し、新しくする時期だと言われているためです。30年を一つのスパンとして考え、それ以降のことに関しましては、改めてその時期に検討します。			